04
-北部-

中田 晃司（なかた こうじ）

「SNOW DRIP COFFEE」代表
集落支援員
仙崎通り町協議会事務局長

応募のきっかけは？

2017年8月、山口県主催のソーシャルビジネスコンテストに参加しました。残念ながら最終まで勝ち上がることはできなかったのですが、今後のためと思い、コンテストの優勝者のプレゼンを聞きに、夫婦で会場に向かいました。そこで、長門市で活動する協力隊と出会い、仙崎地区で協力隊の募集があることを知り、現地を訪れることにしました。地域の空気感、地域の人との触れ合いの中で、仙崎という地域に惹かれ、応募を決意しました。

隊員時代：仙崎軒先ツバメMARKET

着任してみて、想像と違っていたことはありましたか？

着任当初、「漁師町だから言葉がきつい」、「よそ者には冷たい」などと話す方もいらっしゃいましたが、実際には、よそ者でもしっかりと地域に向き合えば、親身になって話を聞いていただけるし、応援してくれる方もたくさんいました。そんな情に厚い土地柄が、仙崎の魅力だと感じています。

隊員時代の思い出を教えてください

地元の声を聞く機会が増えたり、リヤカーカフェの営業でお客様の声を聞く度に、ミッションで掲げられている地域課題と、実際の地域での課題にギャップがあると感じ、企画案を出すことを悩んだこともありました。

また、任期3年目はコロナ禍で、みすゞ通りイベント「軒先ハンドマーケット」が中止になるなど、影響もありました。卒業後の生活について、「コーヒーを商売にして、本当に生業としていけるのか」と開業を悩み続けましたが、コロナ禍をきっかけに、「観光需要重視」の考え方を改め、地元の皆さんが日常に使ってくださる場を提供することを目標に、事業計画を書き直しました。行政や地域の方、家族との対話を繰り返すことで、私流の生き方を見つけることができたと思っています。

隊員時代：サイクリングイベント

現在、そしてこれからについて

カフェの経営に加え、空き家を活用したゲストハウス、SUP、ハイキング、サイクリングなどのアウトドアの拠点を作っていきたいと考えています。

協議会を通じて、仙崎に住みたい人、事業をしてみたい人、夢を叶えたい人たちとつながり、地域の人の生活がより豊かで、楽しくなる活動を行っていきたいです。子どもたちに「仙崎での生活が楽しい。ここで生活ができて良かった」と思ってもらえるような地盤を作り、持続的に住み続けられる地域にしていきたいです。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

それぞれ能力や思いをお持ちだと思います。「みんなちがって、みんないい」。個性と地域のポテンシャルがマッチすれば、大きな力になると確信しています。

隊員時代：リヤカーカフェ ▶

中田 晃司さん

協力隊として

| 着 任 地 | 長門市
| 活動期間 | 2017年11月～2020年10月
| 活動内容 | みすゞ通り活性化、定住・交流促進

現在の仕事

「SNOW DRIP COFFEE」代表、
集落支援員、仙崎通り町協議会事務局長
| インスタグラム |
https://www.instagram.com/yatai_snowdrip/

中田さんのあゆみ

- 2017.08 山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト参加
- 2017.11 協力隊着任
- 2018.05 みすゞ通りイベント「仙崎軒先ツバメMARKET」開始
- 2018.07 SUP体験会開始
- 2018.10 サイクリングイベント開催
- 2018.11 リヤカーカフェ営業開始
- 2019.04 家族の移住
- 仙崎周遊ガイドブック「グルメぐり仙崎」作成
- Webサイト「グルメぐり仙崎」作成
- 2020.10 協力隊卒業
- 集落支援員（仙崎通り町協議会事務局長）就任
- 2021.03 「SNOW DRIP COFFEE」オープン